

管内4地区で支店運営協議会を開催

J Aあきた白神

J Aでは管内4地区で支店運営協議会を開催し、平成27年度の実績や農業情勢、今後の事業について、生産者や地区の代表者と協議しました。

はじめに佐藤組合長が「今年度はJ Aにとって大きな流れのある年であった。TPPの大筋合意をはじめ、農家を取り巻く環境はますます厳しくなっている。当J Aがおかれている状況を把握し、組合員が必要としている事業を進める取り組みが必要」と挨拶。その後、支店を拠点とした協同活動の計画などについて話し合わせ、参加者からは、世代交代が進む中、地域密着活動を通して住民との関係を深めてもらいたいと提言されました。



▲農業情勢や支店の活動について様々な意見が交わされた



▲今後の取り組みについて協議した

目標達成へラストスパート!

共済課

L A担当者や共済連など27名の参加のもと、L Aジャンプアップ目標達成決起大会を1月13日にシャトー赤坂で開催しました。

この大会は、12月から重点的に活動している新卒者向けの自動車共済や生命共済のジャンプアップ目標、そして年度末の目標達成を目的に開かれ、12月末実績報告の後に支店ごとの協議が行われました。L A担当者は活動の反省や、今後の取り組みについて話し合い、キャンペーンを利用した活動することなどを確認しました。全共連の齊藤部長は「常に休むことなく地域住民の方に安心と満足を提案し、選ばれるJ Aになってほしい」と話しました。

能代産農産物を使ったメニューを考案

J Aあきた白神

能代産農産物を使った創作料理の試食会が12月18日、南部公民館で行われました。創作料理を味わい、広くそのレシピをPRすることで、能代産農産物の素晴らしさを実感し、誇りをもって消費地への売り込み拡大につなげてもらおうと開催されました。

この日は、県や市、J Aなど16名が参加し白神ねぎと米を使ったスープなど全15品を味わいました。料理を提案した京都市で「ジョイフル文蛾（ぶんが）」を経営する平田宗子さんは「白神ねぎは九条ねぎに勝てるだけのおいしい素材でした。今後はペーストや粉末など加工して販売してもおもしろいのでは」と話してくれました。



▲地場産農産物の活用法について考えました



▲受賞したポスターを手に笑顔を見せる安保来夢さん

コンクールを通じて交通安全意識向上を目指す

J A共済

J A共済秋田県交通安全ポスターコンクールの表彰式が行われ、藤里小学校2年生の安保来夢（あんぼらいむ）さんが、金賞および秋田魁新報社賞を受賞しました。

このコンクールは、児童たちが交通安全の重要性を学び、交通安全思想を幅広く社会に訴えることを目的として毎年行われています。受賞した来夢さんは「1番の賞がとれてとてもうれしいです。自転車を乗る時はスピードを出さないこと、左右確認をして車がこないか注意して確認しています」と話してくれました。藤里町では交通死亡事故ゼロが5000日を超え、県内市町村記録を更新しています。